

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いを行っていないことがある。	介護計画を家族に理解してもらい、内容について話す機会を増やす。	介護計画を説明する時は、具体的な例を挙げたり記録を見せたりして、ご家族が理解しやすいように工夫し、意見や質問を言ってもらえるような声掛けを行う。 面会時に日常生活の様子（以前と比べての変化）を説明することで、ホーム生活での希望や気になること、不安や不満に思っていることを話してもらえるように努める。	6ヶ月
2		ご家族から見て、ご本人がサービスに満足をしていないと思う入居者がある。	入居者の気持ちを汲み取ったサービスを提供する。	職員に遠慮をして希望や不満を言われない入居者もおられるので、ご家族の面会時に入居者本人が家族に何かホームに対する希望や不満を言われていないかを聞き取る。 ホームでの生活に馴染めず落ち着かれない入居者には、ご家族から生活歴や趣味・お得意なことを聞き取ったり、本人の興味を示される活動を見出したりして、ホーム内での役割や活躍の場を作る。	6ヶ月
3		ご家族から見て、職員が生き生きと働いているように見えない。	仕事にやりがいを持てるよう支援する。	職員と個別のミーティングを行い、職員一人一人の仕事に対する考えや不満、業務改善への提案を聞き取る機会を作る。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

注3) この目標達成計画は、外部評価結果が確定した後作成し、評価機関へ送付してください。また、評価結果と一緒に市町村に提出してください。